

モザイクコミック総集編



モザイクコミック総集編

魔法少女
ノーブル・ローズ
最強魔物!と共生セックス

この街は突如
現れた謎の組織
エビルズアークに
支配されています

人々はバイオ兵に
立ち向かいましたが
銃火器は
役に立ちませんでした

エビルズアークは街に
バイオ兵を放ち
若い女性を襲わしています

バイオ兵は力が強く
俊敏で、一度狙われたら
最後、逃れることは
できません

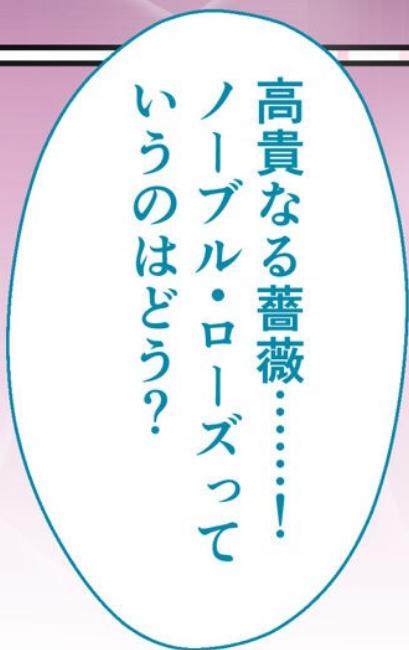
女性バイオ兵と
遭遇しないことを
祈りながら生活するしか
ないのです――

キーン

失礼します
舞華さん
起きていたのですね



このような姿に
変わるのです



こうして
街の人々を守るため
私の戦いが始まりました



ですがこの時、私は
理解していなかったのです

私を待ち受けている
あまりにも過酷な運命の
ことを……

ふふふ
私はルカンダ
アーク・デュラン様の
配下の1人よ

純真な子に、敗北と
屈辱と恥辱の味を
覚え込ませることが
できると思うと……

……ゾクゾク
するわ

な、なにを
言って……!!

ねえ
なぜ私達が女どもを
犯●ているのか
分かる？

……それはね
魔力を
集めるためのよ



私達の
ような魔族は
魔力がないと
生きていけないの



この世界で
唯一魔力のある場所……
それが、女の体内よ
個人差はあるけどね

その魔力が体外に
放出される瞬間がある
それが——絶頂した時



魔族……？
人間ではないの
ですか……？



ぜっ、ちよう……
ですって？

女を絶頂させて
その時に放出される
魔力をバイオ兵が
吸収するの

そして——
魔法少女の力の源も
もちろん魔力なわけ



それって……！

あなたも
魔法少女なら
あなたには莫大な
量の魔力があるはず

つまり、あなたは
最上級の獲物って
ことになるわけ

っ……!?

魔法少女!
あなたを犯●て
魔力を奪わせて
もらうわよ!

バイオ兵達……
ぐちゃぐちゃにして
しまいなさい!

ガッ

きゃああ…ツ!?

んああああっ…
やめてくださ、っ
ひいいいっ!



私は
バイオ兵達に囲まれた
犯●れ続けていました

絶頂のたびに
私の魔力がバイオ兵に
吸い取られていくのです

これ以上、魔力を
吸われるわけには…
いきませんっ…
んあああああっ…!!



バイオ兵の男性器が
私のナカでも
敏感な部分を
的確に突き始めました



あ…
そこ、ダメ…!!
そこ弱い
っひんっ!!



ダメ…本当に
ダメですう…
もう、イきたく
ないのにつ…っ!!

私の弱いところなんて
バイオ兵にはとつくに
筒抜けになっているのです

ビュッ
ビュッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

いっちゃ、ダメです…
ダメ、なのに…っ
耐え、られなひっ…

あ…ダメっ…
いく…いっちゃう…
ダメなのに…
いかされちゃう…

いくうううっ!!

バイオ兵の男性器が
突き刺さっている
ナカから

何かが
吸い取られていく
ような、そんな
感覚があります

ちゅぽん

ちゅぽん
ズグッ

それがすなわち、魔力を
奪われるということ
なのでしょう

ちゅぽん

ズグッ

あ…ああ、つ
んいいいいっ!?

ちゅぽん

私が絶頂したことは
魔力を奪って
分かっている
はずなのに……

バイオ兵は
その腰の動きを
止めようとは
しません

ズグッ

ズグッ



や、もう、ダメですう…
イってすぐにそんな
突いちゃ…っ…!!

あ…
ダメ…そんな…
またイ、イきます…

んあ…
あ、あああ…!!

ぶっ

ぶっ

ズン



はああ…っ
また、魔力
吸われてます…

あ、ああ…っ!!

私、変身が
解けて…ううう…

ハア…!!

ズン

ハア…!!

私の体を光が包み
光の中から制服が
現れました

キュム

魔力をすべて失い
変身が解けて
しまったのです

うあああああつ…
どうしてっ!!

ぐわほ

ズッ
ぐわほ

ぶほ
ぶほ
ニム

ぶほ
ぶほ

ぶほ
ぶほ
ぶほ

もう
魔力は
ありませんっ…!!

オオ…

もうやめて
ください…
もう、犯●ないで…!!

ハッ
ハッ



私の言葉が通じて
いないのか、
それとも最初から
聞く気がないのか

いくら叫んでも
バイオ兵は
気にも留めていません

んあっ、もう
限界なのに…
私の身体…っ
あううう…

イきますっ…!!
また
イきますううっ!!

きゃうっ♡
♡

私、バイオ兵に
犯●れてしまいました…
初めて、だったのに…

ううっ…
ううあぁあぁっ…

けど
この街を守るため
私が戦わなければ…

しかし●辱は
これだけでは
終わりませんでした

決心の甲斐なく、
次の戦闘でも魔力を失い
再び敗北した私は…

ステッキを取り上げられ、
壁も床も天井も
触手で埋め尽くされた
部屋に放り込まれました

ゴ
キ
ル

ア
ギ

ギョッ…



媚薬効果のある粘液が
私の皮膚や敏感な部分に
染み込み

時間が経過するにつれ
いやらしい気分が
増していました

はあっ、んくっ…
んんんっ!!



身体、弄られれば
弄られるほど、敏感に
なっちゃいます…!!

ダメええ…
これ我慢
できませんっ…!!

一度は
すべての魔力を
失った私ですが…

時間の経過とともに
少しずつ体内で魔力を
回復させていました

しかし、この触手達は
回復したそばから
その魔力を
奪っていくのです

んああああっ…
そんな
激しく突いては
ダメですう…!!

…んあつ…
イ、イくう…
私また、触手で
イきますっ…

イくうううっ!!

う、あ、ああ…
また、イっちゃったよお…
うう、もう、イきたく
なんてないのに…!!

ああ、また
魔力吸われ
てる…

フウッ

グチュッ

もうやだあ…
これ、いつまで
続くの…?

ぐちゃぐちゃ
グチュッ

アッ

や…くるっ…
またイくっ
イくっ…

ひあああああっ!!

ニムッ

グチュッ
グチュッ

びびびび
びびびび

次の戦闘でもー

待っていたぞ
魔法少女

私はグリーヴァ
アーク・デュラン様
配下の1人だ

お前の魔力を
いただくと
しようか

きゃあああっ!?

グリーヴァに敗北した私は
洞窟の奥に捕えられました

う…んっ、く…
もう、やめてえ…
ああ、あああ…

魔力をすべて失い変身が解けた
私をグリーヴァは犯●続けています

あ、もう、私のあそこ
じゅぽじゅぽしないで
ください…

胸も
弄らないでえっ…

硬質化したスライムの触手が
私の乳房に巻き付き
くいくいと絞めつけます

また、私の股間…
奥深くまで、1本の
触手が入り込み、激しく
中をかき混ぜていました

ああ…！ これ
我慢できませんっ…
気持ちよく
なっちゃいます…！

スライムの触手は
こっこつと私の子●口を
叩いていました

入る時と出る時
それぞれ違う快感が
走り抜け、私の
身体は翻弄されます

ズン
ニョ
ニョ

くわ

ダメ、ですっ……!
身体中ぞくぞく
きちゃう……

ズン
ニョ
ニョ

つり

しゅ

スライムに
じゅぼじゅぼされて
イっちゃいますううっ!!

ズン
ニョ
ニョ

私が達しても
スライムの責めは
止まりません

ジュブ
ジュブ

ダメ、っ、んっ
ダメええ…
イ、イ、く、う、う…

キョッ♡

ジュブ
ジュブ

もうやめて…
んあっ、もう
気持ちよく
ならないでっ…

にゅっ
にゅっ

ズブ
ズブ

また、じゅぼじゅぼで
気持ちいいの
昇ってきてますっ…

んぎゅ♡

ジュブ
ジュブ

気持ちいいの、来て…
イ、っ、ち、や、い
ます、う、う、う…!!

ジュブ
ジュブ

にゅっ♡

待ってください！
私も一緒に
戦います！
私は
プリズム・シャリー！
同じ魔法少女です



魔法、少女…！
私以外にも
いたのですね…



なんて、ね…

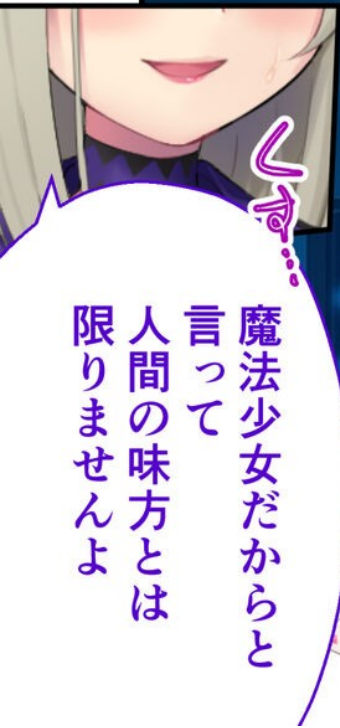
ぐあっ…
な、なにを…!?

ごめんなさい…
私、あなたの
味方ではないのです



なん、ですって…？
でも、私と同じ
魔法少女だと…

魔法少女だからと
言って
人間の味方とは
限りませんよ



魔法少女
プリズム・シャーリーは
もういません

私は
エビルズ・アークに
忠誠を誓いました

ここにいるのは
人間の敵
エビルズ・シャーリー
です

ローズさん…
私が、徹底的に
いじめてあげますね…!

きゃあ……っ!?

触手の壁に絡みつかれ
身動きが取れない私に
エビルズ・シャーリーが
抱きついてきました

んちゅっ…
ローズさんの乳首
ピンと立って、コリコリ
していますよ…はむっ

や、めて…
くださいっ…
舐めないでっ…
そこは、触っちゃ…

ちゅっ♡
ぷりっ

んいいいいっ！
指、中、入れちゃ
あああっ…！

ちゅぽ♡
ちゅぽ♡
ちゅっ♡

れう…ローズさん
感じているん
ですね？

いいんですよ
もっと素直に
快感を受け入れて
ください…！

っっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

っっ♡
どうして
こんなことを
するん
ですかっ…？

っっ♡
あなただって
魔法少女
なんでしょう…？

ローズさんは
人間のために戦って
いるんですね…？

やめておいたほうが
いいですよ
人間に味方しても…
裏切られる、だけです…

んあああつ!!
そんな強く
しちや…あつ!!

あなたはまだ
人間に裏切られては
いないんでしょう？
うらやましいです

でも、いつか人間は
あなたを裏切りますよ…
その前に、私があなたを
墜としてあげますね…

あ…ああ…つ!!
これ以上されたら
私、んんっ…

いやあああつ!!
イくうううつ!!

う、あうう…
やめて
くださいっ…!!

ハァッ
ハァッ

私
いきましたっ…!!

もう私の中
ぐじゅぐじゅするの
やめて
くださいいいっ!!

キョッ♡

はむ

我慢、しなくちゃ…
いけないのにつ…
女の子同士で
こんなことっ…

ぐゅふっ
ぐゅん

グゅ
フ

ぐゅ
ほ

女の子同士だから
いいんでしょ…?
ちゅむっ、れう…

男なんて、性欲を
満たすことしか
考えていない最低な
生き物なんですよ…

ほら…私の手で
もっと
気持ちよくなって
くださいね…!!

ぐゅ
ニ

あ、ああ…指が
たくさん
動き回って…
んひいいいっ!!

はあ、

れるっ♡

ひゃっ♡

我慢しないで
ください…
イって
いいんですよ…?



トギゃうっ♡♡♡

チュッ

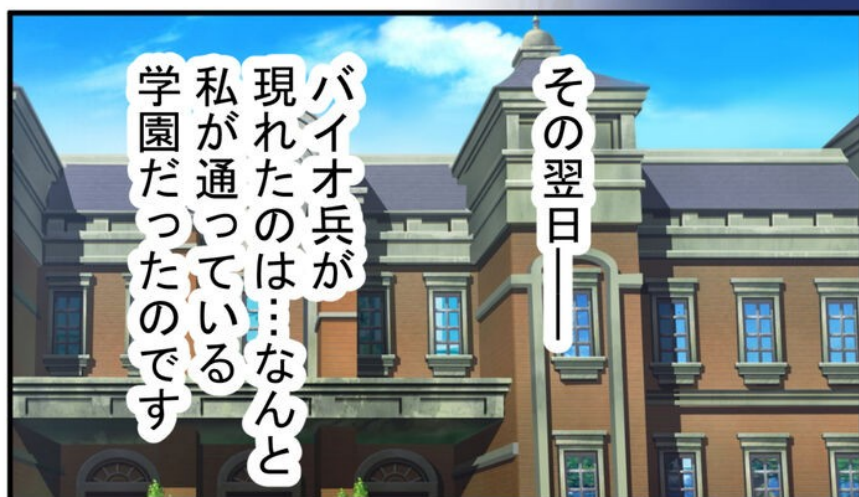
どっ♡
く♡♡

あ——んあああつ…
イ、イくううう…
イっちやいますううつ!

ヴッ

ヴッ

私はたっぷり
鵬^{なぶ}られた後……
なんとか逃げ出す
ことができました



そんな…
俺達、3時間後に
死ぬのかよ…！

ガッ
落ちていてください！
その結界は私が
必ず解除します！

あはっ♪
ローズちゃんに
それができるかな？

今ここで
あなたを倒せば
結界は消える…！

確かに
そのとおりよ！

私の意志でも
結界を
解除できるの！

だったら
今すぐ結界を
解いてくれよ！
死ぬなんて嫌だ！

それじゃあ
私の頼みを聞いて
くれたら結界を
解除してあげる！

頼み……？

簡単なことよ！
そこにいる魔法少女を
私に差し出すの

めちゃくちやに犯●て
変身が解除されるくらい
魔力を奪ってから…ね？

なんですって…？

犯●…？
そんなこと
していいのか…？

やらなきや
死んじゃうんだもの
仕方がないよ、ね

魔法少女の変身を
解除させたら
呼んでね！
それじゃあ！

まっ
待ちなさいっ！

どうする...?
俺は、俺は...

俺は、魔法少女を
犯●て、あいつに
差し出す!

うそっ...!?
やめ——ッ

きやつ
きやあああッ!?

まさか
さおとめ
早乙女と本当にやれる
日が来るなんてな

私は男子達に
魔力がすべて
なくなるまで
犯●れました

変身が解除された
私を男子達は
さらに犯●続けます

いやああああ…
こんなひどいこと
もうやめて
くださいっ…

胸、そんな
乱暴に触っちゃあ
ダメですっ…!!

おお、早乙女
イきそうだぞ

へへへ
早くイき顔
見せてくれよ

俺も
イきそうだ!
出す、ぞおお!

ダメえええっ!!
もう中に出すのは
ダメですううっ!!

抜いてくださいっ…
お願いです
抜いてえええっ!!

[illegible][illegible]

出るぞおおおっ！

ビュッ
ビュッ
ズン
ズン
ズン

精●がっ
ナカに出ちゃって
ますうううっ！！

あぁあぁあっ！！
出て、ますう…！！

これ、ダメ、んあ…
私、イ、く…イ、く…！！
いつくううううっ！！

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

出るぞおおおっ！

ビュッ
ビュッ
ズン
ズン
ズン

精●がっ
ナカに出ちゃって
ますうううっ！！

あぁあぁあっ！！
出て、ますう…！！

これ、ダメ、んあ…
私、イ、く…イ、く…！！
いつくううううっ！！

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

出るぞおおおっ！

ビュッ
ビュッ
ズン
ズン
ズン

精●がっ
ナカに出ちゃって
ますうううっ！！

あぁあぁあっ！！
出て、ますう…！！

これ、ダメ、んあ…
私、イ、く…イ、く…！！
いつくううううっ！！

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

[illegible]

——待ちなさい！
レスター！

なんとか男子たちを
振りはらった私は
この騒動の原因である
レスターを追いかけてました

ふふふ…！！
魔法少女は
そうでなくっちゃ！

アッ…

絶望
させた…？

シャーリーちゃんも
私達と戦ったんだけど
負けちゃったの！
そして人間に
絶望させて
仲間にしたの！

…クラスの
男子全員に
輪●させたのよ

この学園はね
シャーリーちゃんの
通っていた学園なの

！！

それじゃあ
ローズちゃん！
お楽しみの
時間だね！

レスターの触手が私の
コスチュームの下に入り
裏側に浸食していきます

ひい……ッ!!
な、なん、ですかっ
これ……? 服の中に
触手がっ……

これ
やめてくだ、っ
ぷうううう!!

レスターの触手が
口の中に飛び込み
触手の粘液が
直接流し込まれました

どう
ローズちゃん?
気持ちよく
なってきた?

んぐんう……っ
気持ちよく
なんかっ……!!

気持ちよく
ないの？
それじゃあ
これをあげる！

レスターのスカートから追加で触手が伸び私の股間へと向かいました

んむ
きゅううううっ!!

ズッ
ズッ

二二

どうしたの？
ローズちゃん
もうイキそうなの？

いいよ！
イっても！
我慢せずに
イっていいの。

いいよ！
イっても！
我慢せずに
イっていいの！

んっ…ん——
んぐうううううっ!!

7ル

あは！
ローズちゃん
いったのね！

魔力が流れてくる！
やっぱりローズちゃんの
魔力は、とっても
美味しい！

それじゃあ
続きするね

これ、ダメ…
気持ち、よすぎです…
私、また
イっちゃいます…！！

んきゅううううう！



ローズちゃん、
またいった！
私の触手、そんなに
気持ちいいの？

どんどん激しく
するから、何回でも
イってね！

もう、やめて…



これ以上
イかされたら
私、壊れて
しまいます…

ちゅぐうっ!!
むううううっ!!

ラストの責め苦で
気を失った私……
しかし●辱は
終わりませんでした

や、やめてください……
こんな、ことっ
ああああ……!

拘束された私を
数十人の男が取り囲んで
いました

ひぐっ、んっ……
どうしてあなたたちは
敵の言うことを
聞くんですか……っ!

無駄よ
この男達は
私の言うことに
逆らわないの

人間にはね
進んで悪に味方を
したい人もいるのよ

ダメ、ですっ……
エビルズ・アークに
味方をしては、ダメ!

俺たちは自分が
楽しければ
いいんだよ

それじゃあ
私は行くから

ちゃあんと
ローズちゃんを
満足させて
あげるのよ？

…!! 待って
くださいっ…!!



この人達に
やめるように
言って…

やめさせて
くださいっ…!!

私の言葉を無視して
ルカンダは夜闇の中に
消えていきました

ぶぽ

見ないで
くださいっ…
私は、感じてなんか
んひいいっ!!

どう見ても
感じている
じゃないか

ぶぽ

じゅわん

あそこが
びしょ濡れだぞ



違いま、すっ…
これは…ああ…
ルカンダに付けられた
紋様のせい、っ

なんですっ…
んああああっ!!

四魔将に敗北した後
私の身体に、ルカンダに
よって紋様が描かれました



身体の感度を上げ
強制的に発情させる効果の
ある紋様が刻まれたのです

いやああっ!!
イ、イっちゃう…
私、犯●れて…
イクううううっ!!



もう1つの紋様の効果により、放出される魔力が遠方にあるルカランダに送られる仕組みです

う、あああ……
いったばかりなのに
突いちゃ
ダメですううっ!!

こんなのっ……!
気持ちよくなんか
なりたく
ないのにつ……っ!

どうして私
感じちゃうん
ですかあっ!

もう
我慢できない
ぶちまけてやる!

ふぎゅううううっ!!

はぁ...

あれ、ここ……
もしかして……
エビルズアークの
基地……？

これって……
アーク・デュランを倒す
機会なのでは——

また
会いましたね

はぁ

ここを
通してください！
私はあなたと
戦いたくありません！

あなたは
戦いたくなくても
私はあなたを
通す気はありません

あなたが、その……
男子にひどい目に
遭わされたのは
知っています……

でもこのままでは
被害に遭う女性が
増えていくんです！

…それが
どうしたのよ
誰も私の味方を
してくれなかった

こんな世界
滅んでしまえば
いいんです！

確かに
この世界には
ひどいことを
する人もいます…

それでも私は
この世界を
守りたい

そして私は…
あなたも
救ってみせます！

結局私は
シャーリーを説得
することができず
先へと進んだ――

あなたが
アーク・デュラン
ですね？

女の人を襲うのは
もう
やめてください！

魔力が
なければ我は
生きてゆけぬ

魔法少女よ
お前の望みはつまり
我に「死ね」と
言っているのと同義だ

戦つて、決着を
つけるとしよう

しかし……
私はアーク・デュランに
敗北し、触手の群れに
捕えられました

んあああつ!!
これ太い、ですう……!!
抜いて
くださいいいっ!!

すぐに
慣れる

ひっ、いいっ！
太いのが
いったりきたり…

びゅん
びゅん

ッ
ッ
ッ

いぼいぼが
お腹の中
ごりごりって…！

グ
グ
グ

す
す
す

ニ
ニ
ニ

わらひっ
おかしくなっちゃい
ますっ…！

ぢ
ぢ
ぢ

グ
グ
グ

粘液をナカに塗り込まれ
私は強制的に
発情させられていました

グ
グ
グ

わ
わ
わ

ぢ
ぢ
ぢ

ッ
ッ
ッ

胸
吸い上げられて…
お腹の中
いっぱいで…
ダメっ！
くりゅっ！！
きちやいますっ！！

ッ
ッ
ッ

に
に
に



あざいいいいっ!!
そんな、っ
また、すぐイって…
しまいますううっ!!

いやっ…
私、イってるのに…
また、また…
イっちゃいます…



いつ、やあああっ!!
これ以上私を
犯●ないでええっ!!



そこまでです!

ローズさん!
私の魔力を渡します!
一緒に
アーク・デュランを…!

シャーリー
さん……!!

はいッ…!!

ふふふ
ふはははは……!!
我が敗れるか……
無念だな……

見事だ
魔法少女……
お前の
勝ち……だ……!!

邪悪な気配が
消えました……

これようやく
終わったのですね……



©NoFuture